

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 洲本

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">・若い世代（働き盛り世代）は、自身の健康状態を振り返ったり、適正な食事量を見直す機会が少ない。・淡路圏域では心臓の疾患による死亡率(SMR)が国・県より高い。・関係機関の働き盛り世代へ食育推進の連携強化。
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none">・「減塩」をテーマにした働き盛り世代の生活習慣病予防の推進。・食の健康協力店(モデル店舗)の減塩料理の提供に向けた支援。・淡路の健康課題と食生活の実態を関係機関と共有し、働き盛り世代の食育推進に向けた連携強化を図る。
成果	<ul style="list-style-type: none">・関係機関と連携のもと、働き盛り世代を対象に減塩推進活動を実施することができた。・食の健康協力店(モデル店舗)の食を通じた健康づくりへの意識が高まり、減塩料理を提供し始めることができた。・働き盛り世代の課題や淡路の食生活の実態について関係機関と共有することができ、来年度の事業実施について連携体制を整えることができた。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・引き続き関係機関と連携し、働き盛り世代が多く集まる機会を活用して、生活習慣病予防に関する情報を発信していく。・事業所や一般食堂において健康づくりを意識した料理（減塩料理や野菜たっぷり等）が提供できるよう、関係機関の連携を強化し食育の推進を図る。

2 会議の開催状況

実施日時	平成30年3月19日(月)9:30~11:00
参集者 (団体数 及び人数)	淡路労働基準協会、淡路地域産業保健センター、淡路ブロック栄養士会、管内3市いずみ会、淡路ブロック給食施設協議会、南あわじ市健康課、淡路市健康増進課 (7団体2機関・計10名)
協議内容	<ol style="list-style-type: none">1 淡路の食生活と健康状態の姿について2 各職域における働き盛り世代への食育推進の取組みと課題3 働き盛り世代の食育推進に向けた来年度の取組みについて
今後の方策	<ul style="list-style-type: none">・働き盛り世代の食育推進のため、給食施設が持つ献立のノウハウの共有を図ることを目的に減塩レシピコンテストを開催する。・コンテストの開催は給食施設協議会を中心に取組むが、コンテスト後のレシピを地域(住民、事業所等)に広く発信し、淡路圏域全体の食を通じた健康づくりに繋げていくため、参集した団体と連携する機会を設けながら進めていく。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	働き盛り世代の生活習慣病予防の推進		
対象及び参加者数	1 労働基準協会登録企業 187名 2 食の健康協力店（モデル店舗：アミアミ+i）8名 3 食堂利用者 毎週50名程度		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	平成29年9月 21日（木） 12:30～16:00 洲本市民交流 センター	1 体験「健康チェックコーナー」 ・味噌汁の塩分濃度チェック ・食塩摂取チェックシート 2 展示「減塩・野菜摂取」	淡路労働基準協会 健康財団淡路支部 洲本健康福祉事務所
	平成30年1月 17日（水） 15:00～17:00	1 講話「生活習慣病予防と減塩推進 について」 2 減塩料理の試食 3 検討会「食堂でできる生活習慣病 予防対策について」	淡路ブロック栄養士 会 洲本健康福祉事務所
	平成29年9月 ～平成30年2 月 平成30年2月 ～3月毎週金 曜日	1 媒体作成 2 媒体展示・減塩料理の提供	アミアミ+i) 食の健 康協力店) 公衆栄養学実習生 洲本健康福祉事務所
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩分チェックシートや試飲体験により、食生活を振り返りと減塩の意識啓発を図ることができた。 ・食の健康協力店(モデル店舗)の食を通じた健康づくりの取組み意識が高まり、健康に配慮した定食の提供が出来るようになった。 ・減塩定食の提供や、媒体、食塩相当量の提示により、減塩を意識する機会が増えた。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <p>①評価指標・目標値：体験学習の参加率・参加者の50% 結果：試飲体験41名(参加率22%)、チェックシート86人(参加率46%)</p> <p>②評価指標・目標値：食を通じた健康づくりの取組み内容・栄養成分の表示ができる、減塩に配慮した食事提供ができる、健康づくりに関する情報提供ができる 結果：店舗自身で健康づくりに関する情報提供と継続した減塩に配慮した定食提供ができるようになった(週1回塩分量約3gの定食の提供、減塩醤油の使用、汁量の調整、香物は当座漬けから即席漬けにする)、店舗自身での栄養価計算ができる体制には至っていない。</p> <p>③評価指標・目標値：減塩定食の選択率の増加・現状(32%)より増減塩定食の提供開始後の選択率は、実施前とあまり変化はなかった(2種類の定食の内1つを減塩定食として提供)。「減塩」を意識して選択しているかまでは把握出来ていない。(「減塩定食」選択率平均36%)</p>		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食を通じた健康づくりに取組む飲食店の増加と取組みの拡充方法 ・食を通じた健康づくりを継続的に提供するための支援方法 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

働き盛り世代のための 生活習慣病予防の推進

～減塩推進の取組み～

淡路圏域では心臓疾患による死亡率(SMR)が国・県と比較して高くなっています。食事から予防できる取組みは、肥満改善(食事の適量摂取)、減塩、野菜摂取等が様々ありますが、今年度は減塩を意識した事業を関係機関と連携のもと推進しました。

減塩推進活動①

～働き盛り世代へアプローチ～

日時 平成29年9月21日(木)

場所 洲本市民交流センター

連携 淡路労働基準協会・兵庫県健康財団淡路支部

☆内容☆

- みそ汁の塩分濃度チェック
- 食塩摂取チェックシート
- 展示(減塩・野菜摂取)

1食あたりの塩分量の目安や
塩分の多い食材を展示



塩分摂取の多い食生活かどうか
チェックシートでチェック!



減塩推進活動②

～食の健康協力店（一般食堂）へのアプローチ～

日時 平成30年1月17日（水）

場所 アミアミ+i 食堂 ・ 洲本健康福祉事務所

連携 食の健康協力店、淡路ブロック栄養士会

☆内容☆

- 講話「生活習慣病予防と減塩推進について」
- 減塩料理の試食
- 検討会「食堂でできる減塩活動について」

食の提供側から
利用者の健康づくりの
ためにできることを
考えました！



減塩推進活動③

～食堂利用者へのアプローチ～

日時 平成30年2月～毎週金曜日

場所 アミアミ+i 食堂

連携 食の健康協力店（アミアミ+i）

☆内容☆

- 媒体の展示
- 減塩料理の提供



毎週金曜日に1食約3gの定食を
提供し始めました。